

2024年8月28日

【インパクト投資】シュローダー・ブルーオーチャード・マイクロファイナンス・ファンドへの投資 ～マイクロファイナンス機関への融資を通じて、新興国への“金融包摂”を後押し～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:隅野俊亮、以下「当社」)は、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社が組成するシュローダー・ブルーオーチャード・マイクロファイナンス・ファンド(以下、「本ファンド」)に対し、ESG 投融資の一環であるインパクト投資¹として 50 億円の投資を実施しましたので、お知らせします。

【本投資の概要】

- 本ファンドは、主に新興国における低所得者層向けに金融サービスの提供を行う金融機関(マイクロファイナンス機関)に対するプライベート・ローン²を投資対象とします。
- 本ファンドの実質的な運用は、2001年に国連がイニシアチブをとって設立し、現在はシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社のグループ企業である運用会社 BlueOrchard Finance Ltd が担っています。同社は 20 年を超える投資実績と、100ヶ国・2億 5,000 万以上の人々に対して金融関連サービスの提供を行う幅広いネットワークとプレゼンスを誇るグローバルな運用会社です。世界で初めて民間投資家向けのマイクロファイナンスファンドを立ち上げた、この領域におけるパイオニア的存在として知られています。
- 世界では、担保権設定や社会的信用等の理由から銀行口座を持っていない成人の人数が約 14 億人にのぼるとされており、金融サービスへのアクセス確保は低所得者層の人々にとって事業拡大の課題となっています。本ファンドが投資対象とするマイクロファイナンス機関は、ODA(政府開発援助)の対象となるような新興国を中心に、低所得者層の人々へ融資等を通じて金融サービスへのアクセスを提供することで、金融包摂²を促進します。
- 本ファンドは、ローンのインカム収益による安定的なリターンの獲得が見込まれるとともに、株式や債券といった伝統的アセットのリターンと低相関であるため、ポートフォリオ全体のリスクリターン向上が期待できます。



写真提供:シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

¹ インパクト投資とは、運用収益の獲得と社会的インパクト(社会の構造変化等)の創出の両立を意図して投資判断を行う投資手法。

² さまざまな理由で金融サービスから取り残された人々が経済的に安定した暮らしができるよう、基本的な金融サービスへのアクセスをサポートする取組み。

主な社会的インパクト	関連する SDGs 目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 新興国を中心とした低所得者層の金融包摂を促進し、最終顧客の事業拡大や維持、経済的自立に寄与 <p>※資金提供・支援を受けた最終顧客数、企業数等のインパクト定量指標の測定が可能</p>	

当社は本投資を通じて、高い投資収益を期待するとともに、新興国を中心とした低所得者層の金融包摂を促進するシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社および BlueOrchard Finance Ltd の取組みを資金面からサポートし、その進捗状況を継続的にモニタリングしていきます。今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投融資に積極的に取り組んでいきます。

BlueOrchard Finance Ltd CEO Philipp Mueller 氏は以下のように述べています。

	<p>第一生命がブルーオーチャード・マイクロファイナンス戦略に投資頂くことを光栄に思います。マイクロファイナンス戦略は、安定した経済リターンの創出と同時に、新興国における数百万人の起業家を支援することを目指すインパクト投資戦略です。ブルーオーチャードは、2001 年の設立以来、20 年超にわたってインパクト投資ソリューションを開発してまいりました。この経験をもとに、日本市場におけるインパクト投資のさらなる発展を期待しています。本邦投資家によるサステナブル投資・インパクト投資への需要は高まっており、ブルーオーチャードは様々なお客さまのニーズにお応えする体制を整えています。</p>
--	--

【ファンド概要】

ファンド名称	シュローダー・ブルーオーチャード・マイクロファイナンス・ファンド(適格機関投資家専用)
運用会社	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社
投資対象	マイクロファイナンス機関に対するプライベート・ローン
当社投資額	50 億円

《参考情報》これまでのインパクト投資直近事例(2022年度以降)

案件名	リリース日	URL
【インパクト投資】WASSHA株式会社への投資 ～アフリカの未電化地域への電力サービスの提供を通じて、持続可能な貢献～	2022/6/10	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_018.pdf
【インパクト投資】READYFOR株式会社への投資 ～寄付・補助金市場の活性化を通じ、「想い」の乗った支援の溢れる社会を実現～	2022/7/13	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_026.pdf
Ubie株式会社への投資	2022/7/27	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_029.pdf
【インパクト投資】株式会社クリーンエナジーコネクトへの投資 ～オフサイトコーポレートPPAの拡大を通じて、再エネ普及を加速し脱炭素社会への移行を後押し～	2022/8/1	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_032.pdf
【インパクト投資】株式会社JEPLANへの投資 ～PETケミカルリサイクル技術を用いた資源循環を通じて、持続可能な社会の実現に貢献～	2022/8/24	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_036.pdf
【インパクト投資】株式会社環境エネルギー投資の組成するベンチャーファンドへの投資 ～環境・エネルギー分野に特化したベンチャーファンドを通じて、脱炭素社会への移行を後押し～	2022/9/15	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_041.pdf
【インパクト投資】株式会社カケハシへの投資 ～医療のDXを後押しし、持続可能な医療体制の構築に貢献～	2023/4/19	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2023_005.pdf
【インパクト投資】プランテックスへの投資 ～密閉型栽培装置でのサステナブルな植物生産を通じて、環境保全に貢献～	2023/11/30	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2023_038.pdf
【インパクト投資】インスタリム株式会社への投資 ～低価格かつ高品質な3Dプリント義肢装具の供給を通じ、開発途上国の人々のQOL向上に貢献～	2024/3/6	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2023_061.pdf
【インパクト投資】Rakuten Medical, Inc.への投資 ～アルミノックス治療(光免疫療法)という先進的ながん治療法の開発を後押しすることで、がん患者の治療選択肢の拡充に貢献～	2024/3/7	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2023_062.pdf
【インパクト投資】TYPICA Holdings株式会社への投資 ～コーヒー豆を生産者から直接購入できるプラットフォームの提供を通じ、貧困問題の解決を後押し～	2024/4/30	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2024_008.pdf